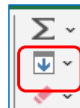


数 値	数 値	数値と文字	数値と文字	数値と文字	数値と文字
1	1	1月	月曜日	1月	月曜日

ドラッグ
オートフィルオプションで
連番にラジオボタン

Ctrl+ドラッグ ドラッグ ドラッグ Ctrl+ドラッグ Ctrl+ドラッグ



連続データ ? x

範囲	種類	増加単位
<input type="radio"/> 行(B)	<input checked="" type="radio"/> 加算(L)	<input checked="" type="radio"/> 日(A)
<input checked="" type="radio"/> 列(C)	<input type="radio"/> 乗算(G)	<input type="radio"/> 連日(W)
	<input type="radio"/> 日付(D)	<input type="radio"/> 月(M)
	<input type="radio"/> オートフィル(E)	<input type="radio"/> 年(Y)

データ予測(I)

増分値(S): 4 停止値(Q): 25

OK キャンセル

複雑な連番

1
5
9
13
17
21
25

セル範囲を選択
ホームタブ
連続データ増分と停止値を決める

複雑な連番

1

アルファベットは? A

A

アルファベットは対応していないので関数の組み合わせで行う

N1セル
=CHAR(64+ROW())
Aと表示されるのでドラッグ

=CHAR (64+ROW ())
CHAR (65) →A
CHAR (66) →B
CHAR (67) →C

CHAR関数は文字を数値に変換する関数で
ROW関数は指定のセルの行番号を返す
依ってROW () と入力すると1を返します
結果CHAR (64+1) →CHAR (65) が返還されて最終的にAが表示されます

総務省発表のデータ入力には統一ルールが有るそうです

以下の項目が抜けていた場合は初めのセルが正しければオートフィルで修正が出来ます

オートフィルおまけ表の作成

鎮静剤A-1
2
3
4

A3セルフィルハンドルをドラッグ

I3には、H3を=で表示下へドラッグ、曜日列を選択
Ctrl+1でセルの書式設定を出すして、表示形式の種類を入れると簡単に作業が出

曜日を表示



非表示



登録日	曜日	名前	年齢	利用金額
2023/9/4	2023/9/4	田中	23	2300
2023/10/5		鈴木	37	4500
2023/11/24		佐藤	41	6300
2024/8/3		中田	43	4900
2024/12/12		山田	54	6700
2024/3/10		中村	45	5400

登録日	名前	年齢	利用金額
2023/9/4	田中	23	2300
2023/10/5	鈴木	37	4500
2023/11/24	佐藤	41	6300
2024/8/3	中田	43	4900
2024/12/12	山田	54	6700
2024/3/10	中村	45	5400

表示形式コード				
aaa	(aaa)	aaaa	ddd	dddd
月	(月)	月曜日	Mon	Monday
火	(月)	火曜日	Tue	Tuesday
水	(月)	水曜日	Wed	Wednesday
木	(月)	木曜日	Thu	Thursday
金	(月)	金曜日	Fri	Friday
土	(月)	土曜日	Sat	Saturday

非表示にしたい列を選択
データタブ
アウトラインからグループ化を選択しても良い
記号が表示される

先頭の0を表示する3つの方法

- ① アポストロフィーを先端に入力
- ② ホームタブ数値グループ「表示形式を文字列にする」を選択
- ③ セルの書式設定、ユーザー定義に「000」と入力する

分数の表示

- ① ホームタブ数値グループを利用する
- ② 約分されてしまわないようにするには
表示形式を出してユーザー定義の種類に0/(分母)と入力
1/3 組み込まれていない表示形式で不可能となった
"3/9"
3/9

よく使うショートカットキー

赤字：よく使用される

Excelで使えるファンクションキー

ショートカットキー	機能	ショートカットキー	機能	ファンクションキー	機能	ファンクションキー	機能
Ctrl+S	上書き保存	Ctrl+;	今日の日付	F1	ヘルプの表示	F7	スペルチェック
Ctrl+Z	元に戻す	Ctrl+:	現在の時間	F2	アクティブセルの編集	F8	選択範囲の拡張
Ctrl+Y	単純動作の繰り返し	Ctrl+D	1つ上のセルのコピペ	F3	名前の貼り付け画面を表示	F9	数式の再計算
F2	セルの編集	Ctrl+R	1つ左のセルのコピペ	F4	直前の動作の繰り返し 絶対参照切り替え	F10	メニューのキーヒント
F4	直前の動作の繰り返し	Alt+↓	同じ列からリスト入力	F5	ジャンプ画面の表示	F11	選択範囲からグラフ作成
F12	名前を付けて保存	Ctrl+Enter	1括入力	F6	画面エリア内の切り替え	F12	名前を付けて画面の表示
Ctrl+矢印キー	表の橋までカーソルを移動	Ctrl+Shift+矢印キー	カーソル位置から表の端までのセルを選択				
Ctrl+A	全て選択						